



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 市制5周年を迎え
市長の目指すもの

2014年版初登場県内1位も、年々住みよさランキングを下げていく。5周年に当たり目指すものは。また、良い時だけでなく公表し、客観的な行政評価の参考とすべし。慶應大SFC研究所の白岡美人コンテストや通園型体験農場などの提言を順次事業化していくのか。

答 市民主体の魅力ある
まちづくりを進める

市民主体のまちづくりを進めるため、住みよさランキングに一喜一憂することなく、施策の実現に向けて鋭意取り組んでいく。慶應大学から提言された地域活性化策については、白岡元気プロジェクトの事業として選定されたものから優先的に実施する。

問 疾風の地元経済
勁草を見つけ育め

人口増なのに駅前からファーストフード店がなくなった。低迷する地域経済は、なぜなのか。目途が立たない駅前整備か。産業団地が生む経済波及効果を楽しむことができる環境整備ができていないからでは。市には、これまでにない目利きと呼ぶ新風とその結果を求める。

答 地域経済の発展を
図っていく

白岡駅西口地域は、関係権利者の事情などを考慮しながら早期の整備に取り組む。産業団地も含め、白岡市商工会の未加入者に対し、引き続き働きかけを行う。まちなぎわいが向上するよう、優良企業の誘致、商店街の活性化など、地域経済の発展を図っていく。



白岡町合併5周年記念
(文書資料室提供)



鬼久保二郎 議員
(市民クラブ)

問 市街化区域に都市公園を
造るべきでは

約40年都市計画税を課されている一部地域にある沖山児童遊園は、今現在狭く、遊具も少なく大人から幼児が利用するのに不便なままである。今後他に沖山児童遊園に替わる場所に新しく作る予定はないのか。子育てに優しい街づくりの点からもいかがか。

答 計画的な整備に
取り組んでいく

今後の公園整備については、まず、区画整理で配置された未整備公園の整備を計画的に進めていくとともに、新たな公園については、市内の公園配置状況などを勘案しながら計画的な整備に取り組んでいく。

問 総合運動公園内の
アスレチック広場は

運動公園のアスレチック広場の目的は、市民全員の遊び場と運動施設として造られたと思う。現状を見ると幼児や小学生低学年が利用するには少し不適切に思われる。20年以上前に開園したと思うが、幼児から中高年が利用できる広場に改修する予定はないか。

答 利用者の声を
反映させていく

都市公園長寿命化修繕計画を今年度作成しており、計画にもとづき各施設の修繕を実施していく予定である。総合運動公園内の各施設についても総合的に検討していくとともに、利用者アンケートを実施するなど、利用者の声を改修案に反映させていく予定である。

